

市政に対する 一般質問

6月定例会では21人の議員が市政全般について質問を行いました。
※一般質問は、議案に関係なく、市の行政事務について市長および執行機関に質問することで、越谷市議会では1人1時間を目途に行われます。



宇宙へのロマンを駆り立てる学びについて

こしがや無所属の会 菊地 貴光 議員

問 越谷隕石についての学びは。

教育長 市内小中学校向けに配布している地域教育資料「越谷のすてき」のほか、中学校3年生理科の教科書において越谷隕石を写真つきで紹介。教科書では市内中学生だけに限らず広く周知されている。

問 校外施設の活用状況は。

教育長 児童館コスモスをはじめ、市内外の施設を活用。今後も、興味関心を抱き多くの経験ができる機会としていきたい。



越谷隕石
鉄を含んでおり磁石も吸い付く



大袋地区センター・公民館北側の土地利用について

NEXT越谷 武藤 智 議員

問 新大袋地区センター・公民館北側の今後の土地利用について

市長 今年度は周囲に安全施設を整備したうえで西大袋土地区画整理事業に伴う工事車両や資材置き場として利用を予定している。今後は西大袋土地区画整理事業の早期完成に注力するとともに、施設の利用状況や地域のご意見等を踏まえながら、公共施設等総合管理計画との整合を図りつつ、対象用地の活用について検討していく。



学校図書館をサードプレイスに活用することについて

無所属 清水 泉 議員

問 不登校児童への中間的居場所を単なる読書ができる空間ではなく安心していられる居場所への活用についての考えは。

市長 学校図書館は読書センター、学習センター、情報センターの3つの役割があり、児童生徒の学びと成長させる場所であると認識している。業間休みなど多くの生徒が利用することもあり、中学校ではさわやか相談室、小学校ではスペシャルサポートルームを居場所として設置している。



保育現場におけるICT活用について

立憲民主党越谷市議団 土屋 来夢 議員

問 延長保育料の現金徴収は、保護者及び保育所双方の負担となっている。業務効率化と利便性向上の観点から、キャッシュレス化を進めるべきと考えるが、市の見解は。

市長 保護者には現金準備の負担があり、保育所にも現金取り扱いの負担があると認識している。今後は他自治体の事例を参考にしながら、利用しやすい方法について検討を進めていく考えである。



通学路安全総点検について

日本維新の会 小林 成好 議員

問 今年は埼玉県で実施する5年ごとの通学路安全総点検の年であるが、市教育委員会としてどのように改善要望を反映し、安全対策につなげていくのか。

教育長 各校の要望をとりまとめ、県を通じて道路管理者・警察等の関係機関と調整し整備計画を策定、5年間で改善を進めていく。また、この計画に限らず随時の要望にも市や警察等関係機関と連携をとって安全確保に努めていく。



住民主体による介護予防について

自由民主党越谷市議団 小林 豊代子 議員

問 令和6年度までに埼玉県立大学と越谷市リハビリテーション連絡協議会と実施した「通いの場」における介護予防活動の効果検証を踏まえ、市ではどのように活用し、住民主体の介護予防活動につなげているか。

市長 令和7年度には46名の介護予防リーダーを養成し、これまで「通いの場」のなかった地区を含め、新たに7か所の「通いの場」が立ち上がった効果がある。



こどもの居場所づくり推進事業の令和8年度からの取り組みについて

こしがや無所属の会 大野 恭子 議員

問 こどもの居場所づくり支援事業の取り組みと、自治会館など身近な地域資源を居場所として活用促進する考えは。

市長 市で整備した居場所の継続に加え、R8年度から民間団体の活動と連携。NPO法人との連携協定に基づき、自治会館など既存施設保有者と居場所づくり希望者をつなぎ居場所創設を支援。子ども会とも協働事業を試行実施。官民連携により、地域の中での多様な居場所づくりを促進する。



公共施設でのグリホサート系除草剤の使用状況について

日本共産党越谷市議団 大和田 哲 議員

問 武蔵野線沿いフェンスにくずを枯らすため、JR関連会社がグリホサートを含む除草剤を散布していた。グリホサート系除草剤は人の健康や生態系への悪影響が懸念され、世界では使用禁止や規制強化が進んでいる。公共施設での使用は。

市長 公共施設の除草は機械や人力で行うことを基本にしている。狭あいな箇所等除草作業が困難な場合に対し、適正な量のグリホサート系除草剤を使用している。



避難所の受け入れ体制について

公明党越谷市議団 瀬賀 恭子 議員

問 災害時にペットと同行できる避難所の受け入れ体制は。

市長 現在、全ての避難所でペットを受け入れるが、飼育スペースは原則、屋外の空きスペースとしている。今後は一般避難者への影響を最小限に抑え、屋内でペットを受け入れられる避難所の拡大を段階的に進め、「自己完結」のルールや受け入れ可能な避難所の一覧を明確にした「ペット避難受け入れガイドライン」の策定に取り組む。



ペットと同行できる避難所イメージ
(生成AI作成)



「読書の推進」「朝の小1の壁」について

公明党越谷市議団 和泉田 宏幸 議員

問 「書店活性化プラン」に対する市の今後の対応は。

教育長 他自治体を参考に街の書店と図書館双方の活性化の取り組みを調査する。

問 小学校始業時間前のこどもの居場所については。

市長 一部地域におけるモデル事業実施に向けた検討を進め、保護者の就業支援と児童の居場所の確保による、「朝の小1の壁」の解消に努めていく。